



CGP - JANM 共催 公開シンポジウム

「変わりゆく日本のイメージ？」

- 米メディア界で活躍する日系人の見方 -

“Is the Image of Japan Changing?”

- Perspectives of Japanese Americans in Media”

国際交流基金日米センター(CGP)は、全米日系人博物館(在米国、ロサンゼルス)との共催で、第3回となる日米公開シンポジウムを開催します。ダニエル・イノウエ上院議員、長谷川閑史日本経団連アメリカ委員会委員長による基調講演に続き、映画『硫黄島からの手紙』の脚本家など、米国メディア・映画界の第一線で活躍する日系アメリカ人3名のパネリストに、米国メディアを通じた日本のイメージとその変容について語っていただきます。また、聴衆の方々との質疑応答も含め、広く日米相互理解の深化、日米関係強化のためのメディアの役割について活発な討議を行います。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

共催：国際交流基金日米センター、全米日系人博物館

後援：社団法人 日本経済団体連合会

日時：**2007年10月11日(木)** 午後2時～4時30分 (午後1時30分より受付開始)

会場：経団連ホール(東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館14階)

【基調講演】 「日米関係はどう変わってきたか」

ダニエル・イノウエ (米国上院議員 / 上院商務・科学・運輸委員会委員長)

長谷川閑史 (日本経団連アメリカ委員会委員長・武田薬品工業社長)

【パネルディスカッション】「変わりゆく日本のイメージ? - 米メディア界で活躍する日系人の見方 -」

<パネリスト>

サチ・コト (サチ・コト・コミュニケーションズ社長 / 元 CNN ニュース・アンカー)

フランク・バックレー (ロサンゼルス KTLA ニュース・アンカー / 元 CNN ニュース特派員)

アイリス・ヤマシタ (映画『硫黄島からの手紙』脚本家)

<モデレーター>

沼田貞昭 (国際交流基金日米センター所長)

本シンポジウムの実施にあたっては、下記の企業・団体様からもご支援をいただいております。

We gratefully acknowledge these additional Symposium sponsors: (partial listing) The Aratani Foundation, Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Canon U.S.A., Inc., Mitsubishi International Corporation, The Mitsui USA Foundation, NEC Corporation of America, Sumitomo Corporation of America Foundation, Toshiba America, Toyota Motor North America, and the UCLA Paul I. & Hisako Terasaki Center for Japanese Studies.

申込：10月9日(火)までに、Fax(下記フォームにご記入下さい)またはE-mailにて、ご所属、お名前、ご連絡先を明記の上、お申込み下さい。

申込・問合せ先：国際交流基金日米センター知的交流課「CGP-JANM 共催日米シンポジウム(10/11)係」
Tel:03-5562-3542 / Fax:03-5562-3504 / E-mail: CGPsympo@jpf.go.jp
URL: <http://www.jpf.go.jp/cgp/exchange/event/071011.html>

申込フォーム

お名前： _____ 昼間連絡先 (Tel./Fax/Email)： _____

ご所属(勤務先等)： _____ 役職： _____

ご記入頂く個人情報は、本シンポジウムの実施目的のためのみに使用させていただきます。

*日英同時通訳

*参加無料